

昭和48年度日本気象学会藤原賞 受賞候補者推薦のお願い

拝啓 会員各位にはますます御清祥のこととおよろこび申し上げます。

さて、今年も「藤原賞」の選考にお力ぞえを賜わり候補者を御推薦願いたいと存じます。申すまでもなく、藤原賞は、故藤原咲平博士の偉大な功績を永く記念するため、博士の遺志を継いで気象学の進展に努められた優れた研究者を顕彰しようとするもので、昭和38年度から実施され、今日までに10回にわたり12氏に授賞されています。

御推薦は、適当な用紙に下記の事項を記入され、昭和48年1月15日までに送付いただければ幸いに存じます。

御多忙中とは存じますがどうぞよろしくお願いいたします。

藤原賞候補者推薦委員会

樋口 敬二（留任）

松野 太郎（留任）

坂上 治郎（新任）

須田 建（新任）

山本 義一（新任）

締切 昭和48年1月15日

送付先 (〒100) 東京都千代田区大手町1-3-4

気象庁内、日本気象学会藤原賞候補者推薦委員会

記入事項

1, 推薦する業績, 2, 受賞候補者氏名(ふりがな付), 3, 受賞候補者の勤務先および地位, 4, 推薦理由, 5, 推薦者氏名印, 6, 推薦者の勤務先および地位, 7, 推薦者連絡先

参考までに今までの藤原賞受賞者は次の通りです。

昭和38年度 斎藤 鍊一 本邦の風に関する研究

昭和39年度 宮崎 正衛 高潮の理論計算とこれを予想
宇野木早苗 に発展させた業績

上野 武夫

昭和40年度 山本 義一 太陽および大気放射に関する研究

昭和41年度 真鍋 淑郎 大気熱収支および放射平衡に関する研究

昭和42年度 孫野 長治 雲物理に関する実験的並びに観測的研究

昭和43年度 坂上 治郎 大気拡散に関する研究およびその応用

昭和44年度 高橋浩一郎 総観気象、気象統計に関する研究および気象学の普及に貢献した業績

昭和45年度 福田喜代志 北日本の長期予報と日本の豪雪についての永年にわたる業績

昭和46年度 福井英一郎 日本における気候学研究とその体系化および気候教育に貢献した業績

昭和47年度 荒川 秀俊 研究および著述を通じての永年にわたる気象力学ならびに気象熱力学への貢献、および日本の気象災害史の研究

なお昭和32年から昭和36年まで日本気象学会岡田賞がもうけられており、次の5氏が受賞されております。

昭和32年度 岸保勘三郎 日本における数値予報の発展と実用化

昭和33年度 小平 信彦 日本における気象レーダーの研究とその実用化

昭和34年度 藤田 哲也 中気象学(メソ・メテороロジイ)の研究

昭和35年度 鈴木清太郎 農業気象学の研究

昭和36年度 渡辺貫太郎 海氷に関する研究